

2012年5月5日(土)多摩川河口 干潟観察会 参加報告

海の森づくり推進協会は共催団体として参加し、川と海の橋渡し役となる干潟の重要性を訴えた。



当協会からの参加者10名(須鍬家・福原家一同は柳沢さんのご近所、藤野がガイド役



環境ネットワーク・文京、地域パートナーシップ支援センターからの参加者、総勢約100名



ヤマトシジミが、水質の浄化に如何に顕著な働きをするかを大勢の子どもたちに見て貰



大きなハサミを持つベンケイガニをゲットし、得意げな小学校高学年生。



次世代の主役である子供たちに自然観察と生態系への直接の触れ合い機会とその喜びを伝えるのは大人たちの重要な責務！！



主催団体である「環境ネットワーク・文京」の地元小学校からの参加者を含め、子供たちの自由で豊かな感性は、干潟観察会終了後の黄色いハンカチへの発表に素直に表現される。